

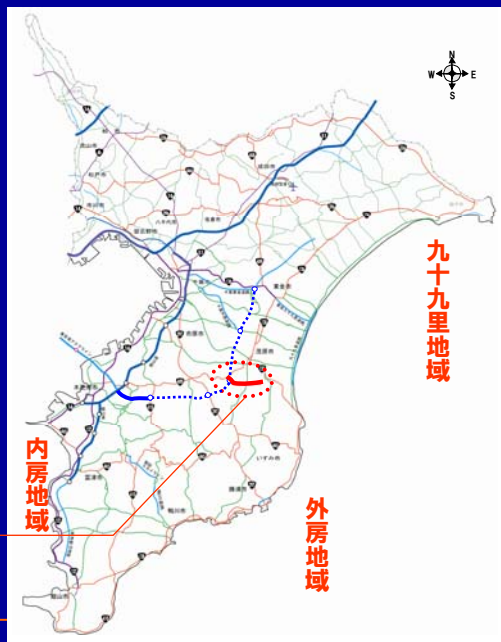
事業再評価—国道道路改築事業—

2. 国道409号 茂原一宮道路

- 1 事業箇所図
- 2 事業の目的
- 3 事業の概要
- 4 事業の進捗状況
- 5 社会経済情勢
- 6 費用対効果
- 7 コスト縮減等
- 8 対応方針案

1. 事業箇所図

国道409号茂原一宮道路



2-1. 事業の目的 ～地域高規格道路とは～



2-1. 事業の目的 ～地域高規格道路とは～

- 高規格幹線道路と一体となって、規格の高い幹線道路ネットワークを形成する道路
- 2車線以上を車線を確認し、自動車専用道路、もしくは、これと同等の高い規格を有し、概ね60km/h以上の走行サービスを提供
- 国土交通省により指定

高規格幹線道路

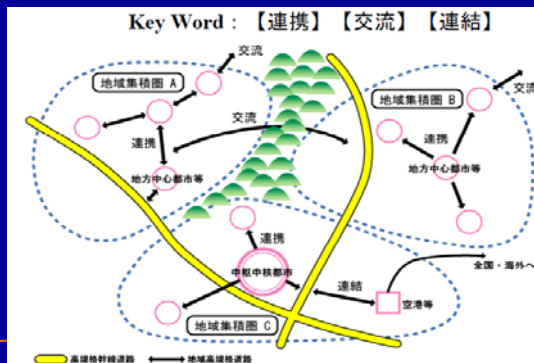
80～100km/h

地域高規格道路

概ね60km/h以上

広域的な幹線道路

30～40km/h



2-2. 事業の目的

■南房総地域の周遊性を高めます



2-3. 事業の目的

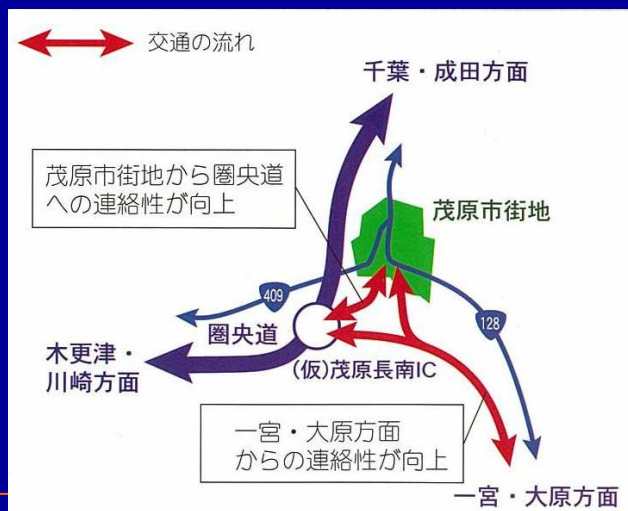
■圏央道、茂原一宮道路等の整備により、半島地域～京浜地区間の所要時間を大幅に短縮し、半島地域の活性化を支援します。

時間短縮
84分⇒77分⇒**67分**
(H17) (H18) (H22)



2-4. 事業の目的

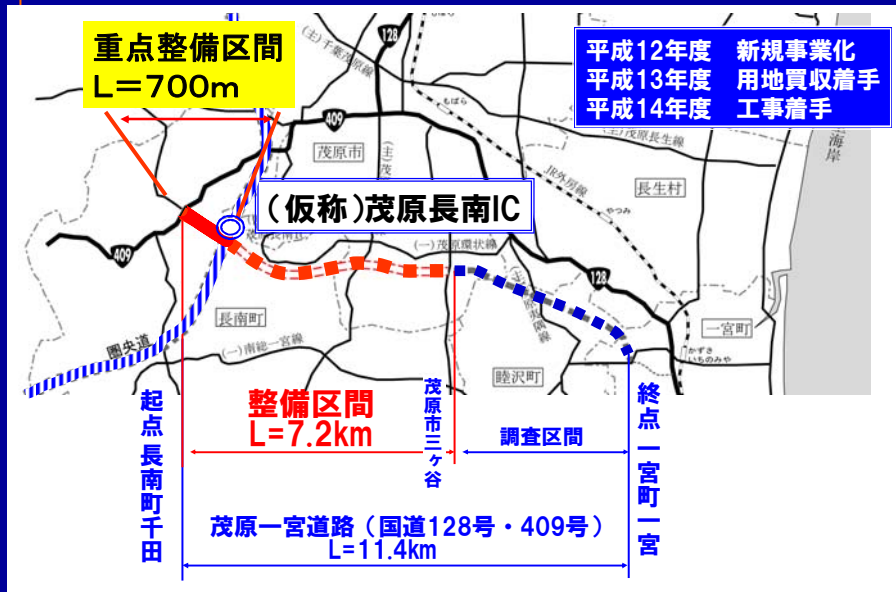
■交通の機能分担



3. 事業の概要



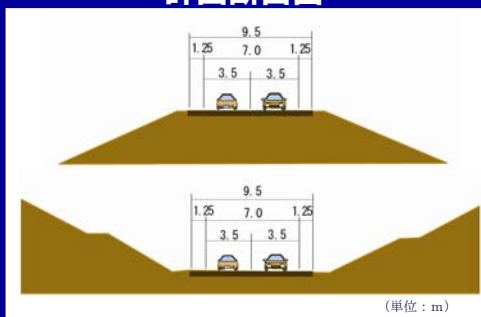
3. 事業の概要



3-2. 事業の概要

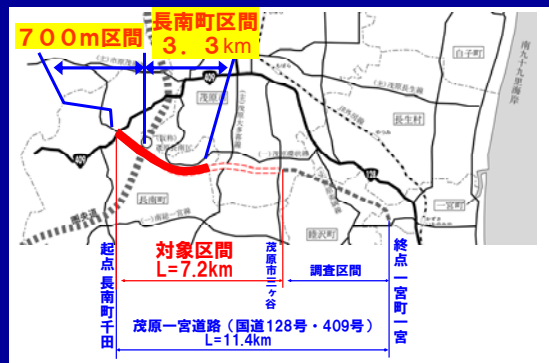
道路規格 第3種第2級
設計速度 60km/h
全体事業費 約149億円

計画断面図



起点側から
 茂原市方面を望む

4. 事業の進捗状況



■ 対象区間事業費	149億円
■ 残事業費	104億円
■ 事業進捗率	30.4%
■ 用地取得率	51.2%

5. 社会経済情勢等

(1) 圏央道の整備状況



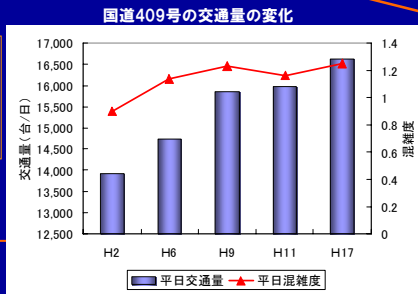
都心から半径40km~60km

5. 社会経済情勢等

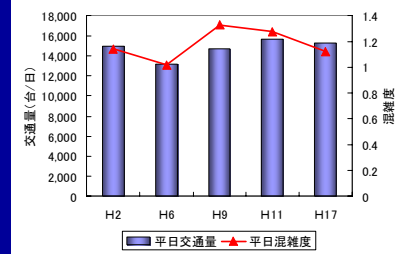
(2) 周辺交通の状況



<国道409号:H17>
 観測地点:茂原市上茂原168
 交通量(平日):16,623台/日
 大型車混入率:11.4%(12h)
 混雑度:1.25(12h)

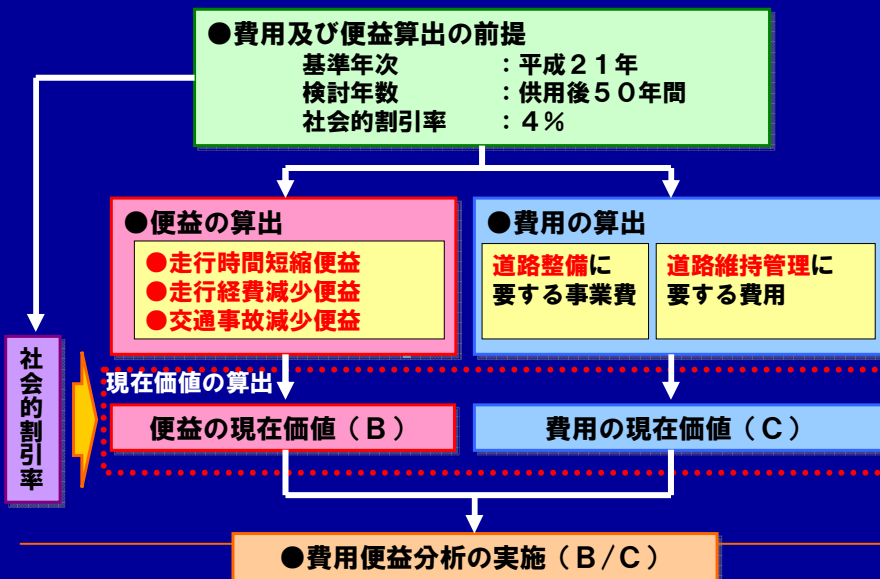


国道128号の交通量の変化



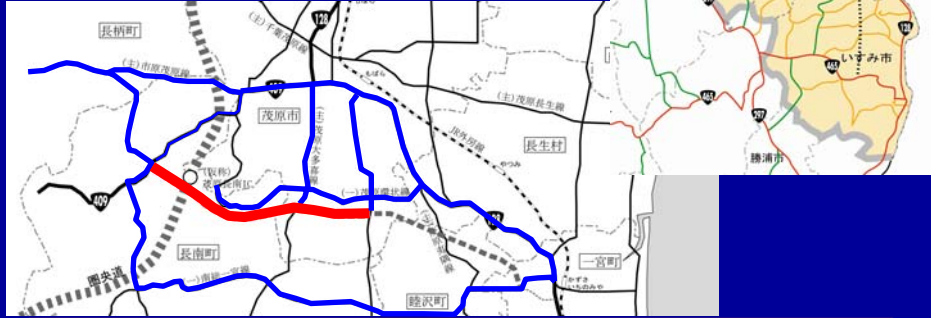
<国道128号:H17>
 観測地点:一宮町宮原540
 交通量(平日):15,278台/日
 大型車混入率:8.2%(12h)
 混雑度:1.12(12h)

6. 事業の投資効果(費用対効果)



6. 事業の投資効果 (費用対効果)

主な便益のルート図

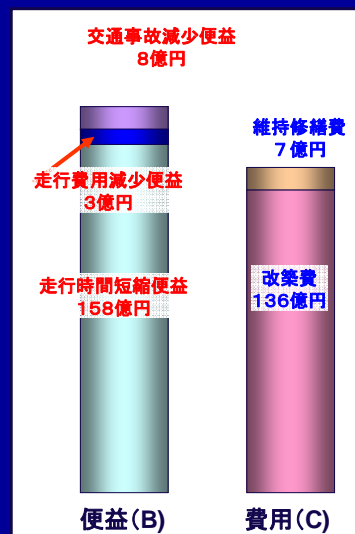


6. 事業の投資効果(費用対効果)

総便益(B) : 169億円

総費用(C) : 142億円

$$B / C = 1.2$$



7. コスト縮減等

■ 設計VEの活用によるコスト縮減

道路幅員構成の見直し

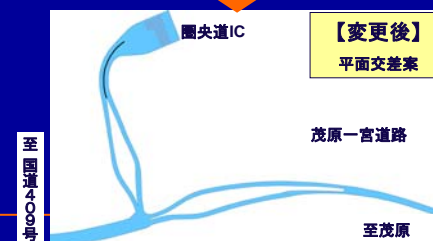
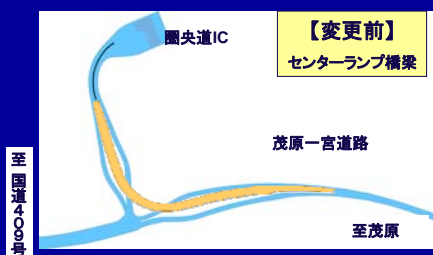
圏央道インターチェンジとの交差形状の見直し など

■ 重点整備区間の設定による投資効果早期発現

- 1) 国道409号から(仮称)茂原長南IC L=約0.7km
- 2) (仮称)茂原長南ICから県道茂原大多喜線 L=約4.0km
- 3) 県道茂原大多喜線から広域農道 L=約2.5km

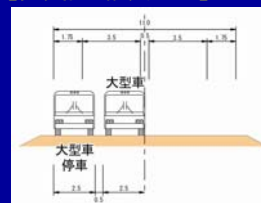
7. コスト縮減等

■ 交差点形状の変更



■ 幅員構成の変更

【変更前:幅員11m】



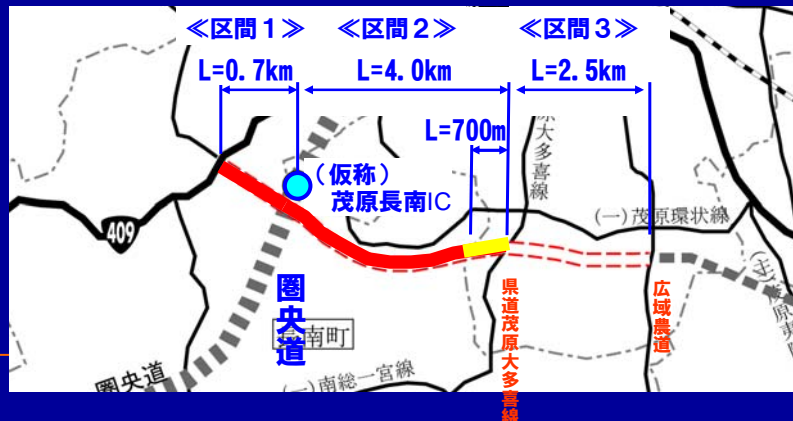
【変更後:幅員9.5m】



7. コスト縮減等

■ 重点整備区間の設定による投資効果早期発現

- 1) 国道409号から(仮称)茂原長南IC L=約0.7km
- 2) (仮称)茂原長南ICから県道茂原大多喜線 L=約4.0km
- 3) 県道茂原大多喜線から広域農道 L=約2.5km



8. 対応方針(案)

継続

【理由】

- 地域高規格道路として、**アクアや圏央道の整備効果を外房地域へ広く波及**させ、観光産業や物流活動などあらゆる経済活動の支援には、整備が不可欠。
- 圏央道の供用開始に合わせて、国道409号から(仮称)茂原・長南インターチェンジ間約700mの供用開始を図る必要がある。